

(一社) 山梨県サッカー協会 4 種委員会 議事録

平成 26 年度 評議員会

〈会議の名称〉

評議員会

〈会議の日時〉

平成 26 年 9 月 27 日 午後 2 時～4 時 40 分

〈場所〉

山梨市民会館 大集会室 (山梨市万力)

〈出席者〉

◇石原幸周委員長 (甲府) ◇志村祐理事会計 (甲府) ◇小林芳昭副委員長 (峡中)

◆福田和久副委員長 (峡北) ◆村松貴志理事 (峡北) ◇内田淳理事 (峡中)

◇望月一徳理事 (峡中) ◇風間斉理事 (峡東) ◆末木一幸理事 (峡東)

◇三澤厚司理事 (郡東) ◆小林哲理事 (郡東) ◇宮下秀吉理事 (郡南)

◇藤田徹理事 (郡南) ◇神取一弘 (技術委員会) ◇三科事業運営部長

◆矢崎審判部長 ◇横森潔キッズ部長 ◆野口フットサル部長

◇鈴木和幸広報部長 出席者 14 名

■各チーム登録評議員 出席者 79 名 (委任状 10・登録 88 チーム)

〈議事〉

司会：望月一徳 (峡中理事)

付議事項

1. 開会の言葉

2. 委員長あいさつ

3. 報告・連絡事項

(1)全日本少年サッカー大会・関東大会・北関東大会出場報告

ヴァンフォーレ甲府U-12

Uスポーツクラブ・韮崎東 SSS・V F 八ヶ岳U-12

JAA 甲斐 CIELO・フォルトゥナ SCU-12・FC トラベッソ・スペリオール上吉田

(2)前期事業報告及び後期事業確認

(3)こくみん共済 U-12 サッカーリーグ・前期表彰

(4)専門部報告 (専門部長)

4. 平成 27 年度 4 種委員会年間事業の見直しについて

5. サッカーの指導現場における暴力根絶に向けてのディスカッション

【司会】：横森潔キッズ部長

【パネラー】

甲府地区：内藤健美氏 (池田 SSS) ・許山敏氏 (大国 01)

峡北地区：堀田充布氏 (甘利 SSS) ・佐藤大輔氏 (VF 八ヶ岳)

峡中地区：渡辺一仁氏 (玉穂 SSS) ・諸貫務氏 (CSC ルーデンス)

峡東地区：村松賢一氏 (浅川 Jr) ・滝嶋和彦氏 (塩山 SSS)

郡東地区：西島秀和氏 (上野原アルテアル) ・中野真紀夫氏 (UFCDREAM)

郡南地区：高村富三人氏 (山中湖 SC) ・池田憲昭氏 (FantasistaFC)

議事経過

14:00

1. 開会の言葉 司会者（望月一徳理事）

スムーズな会の進行にご協力をお願いします。

2. あいさつ 石原幸周委員長

今夏の全国・関東・北関東大会等において山梨代表チームが好成績を上げている。これまで築き上げた4種活動による底上げの成果と自負する。JFA指針、ゲーム環境・指導者育成はもとより、本日予定されている「サッカーの指導現場における暴力根絶に向けたディスカッション」も良い機会としてほしい。今後2015年事業の見直しを行い県下一丸となって4種年代のサッカー環境をより良いものとしたい。

14:05

3. 報告・連絡事項

(1)全日本少年サッカー大会・関東大会・北関東大会出場報告

【ヴァンフォーレ甲府U-12（西川陽介氏）】

全日本少年サッカー大会に出場、カギとなる初戦、大会得点王となる選手を抑え勝利することができた。また予選3試合選手全員が出場し勝利することができた。

2次ラウンドはチビリンピック準優勝のバディー福岡と対戦1-2で敗れた

2試合目柏レイソル戦は敗退が決まっていた、選手は最後まで頑張ることができたが0-2で敗れた。ベスト4に残ったチームはレジスタ（埼玉）・横河武蔵野（東京）・柏レイソル（千葉）・セレッソ（大阪）、3チームが残った関東のレベルの高さを感じた。優勝したセレッソ大阪の、個の技術の高さ・感じる力・ベンチワーク全てにおいて日本一にふさわしいと感じた。ヴァンフォーレ甲府の選手は持っている力すべてを出してくれたと思っている。昨年の成績に及ばなかった結果に対しては指導者の力不足を感じた大会であった。大勢の皆さんに応援いただき感謝申し上げる。

【Uスポーツクラブ（清水純也氏）】

関東少年サッカー大会に出場、初日一次ラウンドを1勝1分け1位で決勝トーナメント進出、準々決勝であざみ野FCに1-0で勝利し、準決勝大宮アルディージャに1-3で敗退した。選手は試合を重ねるごとにコンディションをあげ3位という成績を残すことができた。持ちる力を出し切りよく戦ってくれた。決勝に進めなかったのは指導力が足りなかったためで、選手は大会を通じて成長してくれた。最後のニッサングリーンカップに向けてチーム一丸となって進んでいく。4種委員会並びに会場に足を運んで応援していただいた皆様に感謝申し上げます。

【葦崎東SSS（木村義一氏）】

関東少年サッカー大会に出場、4種委員会石原委員長はじめ皆様に応援いただき感謝申し上げます。2日間3試合に1勝も出来なかった。関東の厚い壁を感じた。選手は一生懸命頑張ってくれた。出場した経験を今後活かしていきたい。

【VF八ヶ岳U-12（佐藤大輔氏）】

関東少年サッカー大会に出場、協会はじめチームの皆様をサポートしていただき最後まで頑張ることができたことに感謝申しあげる。1日目1分け1敗3位、2日目初戦敗退した。自分たちの良いところが活かされた部分、活かすことができなかった部分を関東の中で経験することができた。シュート正確な技術に大きな差を感じた。今後活かしていく。

【JAA 甲斐 CIELO（大竹雅人氏）】

北関東少年サッカー大会に出場、予選リーグ3勝、決勝トーナメント、ヴェルフェたかはら那須U-12に5-3、大谷北FCフォルテに2-0で勝利し優勝することができた。皆様の支え応援をいただき優勝することができたこと感謝申し上げます。

【フォルトゥナ SCU-12（中村洋人氏）】

北関東少年サッカー大会に出場、出場にあたり石原委員長はじめ協会の皆様にお世話なり感謝申し上げます。1日目2勝1敗、2日目2勝で2位パート第1位という成績。1敗した試合では決めるべき選手がチャンスに決めることができなかった。これからの最後のニッサングリーンカップに向けてさらに成長していく。

【スペリオール上吉田（高山氏）】

北関東少年サッカー大会に出場、初日3連敗、栃木県松が谷FC初日の戦いで敗れたことが大きかった。翌日1勝はできたが課題の多い大会となった。選手指導者ともにこの経験を今後のトレーニングに結びつけたいと思う。大会を通じてOBはじめ関係各位の皆様感謝申し上げます。

(2)前期事業報告及び後期事業確認（風間斉理事）

別紙の通り報告された。

【平成26年度前期事業報告事項】

- 主管大会他
- キッズ関連事業
- 食育プロジェクト
- ヴァンフォーレ甲府関連事業
- 山梨県U-12リーグ運営委員会事業
- こくみん共済U-12サッカーリーグ・前期成績
- 山梨県サッカー協会事業

【平成26年度後期事業確認】

- 主管大会他
 - キッズ関連事業
- 【その他】
- 評議員変更届け

(3)こくみん共済U-12サッカーリーグ・前期表彰

- グループ1位 10チーム

【Gグループ】・Uスポーツクラブ（ウエスト）・VF甲府U-12（セントラル）・Uスポーツクラブ（イースト）

【Pグループ】・韮崎SC（ウエスト）・プレジール敷島（セントラル）・CIELOブランコ（イースト）

【Sグループ】・甲府大甲01（ホワイト）・フォルトゥナSC（ブルー）・リスカール牧丘（グリーン）・身延ユナイテッド（レッド）

■フェアプレー賞

【Gグループ】・新紺屋朝日SSS（ウエスト）・山城SSS（セントラル）・石和SSSA（イースト）

【Pグループ】・CIELOブランコ（イースト）

【Sグループ】・釜水SSS（ホワイト）・上野原アルテアル（ブルー）・道志トルベジノー（グリーン）・フォルトゥナフォーゲル（レッド）

(4) 専門部報告（専門部長）

①【広報部】鈴木広報部長

- ・キックオフリニューアル登録業務についてJFAでは2015年度に向けて整理している。
- ・チーム選手の登録業務について、2014年度中は「旧KICKOFFシステム」を使用する。その際使用の「チーム確認カード」は現在のもをそのまま使用できる。
- ・審判、指導者の各種サービスは、「新キックオフ・JFAID管理システム」から申請を行います。JFAIDの取得をお願いします。
- ・「旧KICKOFFアドレス」、「JFAID取得」紐つけ等はHP（山梨県4種サポートブログ）にわかりやすく掲載している。遠慮なく問い合わせしてほしい。

②【技術委員会】神取4種技術委員長

- ・7月21日第1回U-10県トレセン各地区より40名程度参加し開催した。選抜選手により8月11日VF甲府交流戦に22名参加した。後期U-10は12月、2月、3月に実施予定する。
- ・県トレ女子について5年生6年生56名参加している。9月23日から関東交流大会に23名参加する。10月・12月・1月・2月の計5回実施する予定。
- ・県トレU-12について、9月23日、10月26日に実施し、12月6～7関東選抜2チーム最終選手選考する。
- ・12月の選抜大会、関東交流10月26日東京、11月22日～23日鳴沢緑の休暇村、1都7県レベルの高い選手が参加するので応援してほしい。11月に強化マッチを予定する。

③【食育プロジェクト】望月食育担当理事 別紙

- ・山梨のお米「あしたのヒカリ等購入斡旋第3弾を実施する。
- ・第1弾、第2弾実施について参加チームがともに19チーム（延26チーム）であった。登録は88チームであり、4種運営費にもなることから全チームの協力をお願いする。

10分休憩後 15:00～

4. 平成 27 年度 4 種委員会年間事業の見直しと提案について

①【U-12 リーグ】について小林U-12 リーグ運営委員長

- ・平成 27 年度も前期後期の 2 シーズン制とする。
- ・前期 4 月～7 月計 7 日、後期 9 月～12 月計 7 日
- ・リーグ戦デーを設定する。
- ・前期リーグの結果を全少予選シードに反映する。リーグ戦に参加していることが全少予選出場の条件となっている。
- ・グループ編成は前期後期（88 チームの場合）チーム数を変更することでシーズン中のグループ運営が容易になり、試合数も確保できる
 - ①Gグループ 12 チームの 2 グループ
 - ②Pグループ 12 チームの 3 グループ
 - ③Sグループ 9～10 の 3 グループ（調整）
- 後期
 - ①Gグループ 8 チームの 3 グループ
 - ②Pグループ 8 チームの 5 グループ
 - ③Sグループ 8 チームの 3 グループ（調整）

②【全体的な 4 種事業について】石原委員長

- ・全少予選は 11 月実施となる（J F A）
- ・全少予選参加資格はリーグに出場していること、前期リーグ戦の結果を反映する。
- ・関東大会・北関東大会のスケジュールが決定したことから、山梨県予選の日程が 5 月～7 月となる。
- ・リーグ戦を中心にマッチ・トレーニング・マッチを取り入れ、前期リーグ戦実施中に関東・北関東大会予選を実施する。
- ・関東選抜大会が 2 月開催となり、県選抜大会は 1 月に開催する。
- ・関東選抜大会日程により、ニッサングリーンカップ決勝は 3 月第 1 週に実施する。
- ・ナショナルトレセンは 7 月 29～8 月 2 日開催となり、名称も「J F A フットボールフューチャープログラムトレセン研修会 U-12」となる。
- ・全国規模の女子大会につながる「地域ガールズ 8 サッカー大会」関東で開催する。
- ・選抜大会、チビリン県大会、ニッサン大会まで連続し過密日程となっていることが懸念（予備日が取れない）される。

③【全少山梨県大会実施案】別紙

- ・11 月 8 日（日）・15 日（日）・28 日（土）・29 日（日）予備日 21 日（土）
- ・トーナメント方式（8 人制）
- ・初日 8 会場、2 日目 4 会場、3 日目 1 会場 最終日 1 会場（テレビ中継あり）
- ・優勝チームが全国大会出場権を得る。
- ・リーグ戦前期 G グループの結果を参考に付与する
- ・複数エントリー可とする。

④【関東少年山梨県大会・北関東大会実施案】別紙

- ・5 月 17 日（日）予選リーグ 1 日目、6 月 14 日（日）予選リーグ 2 日目

- ・7月4日（土）決勝トーナメント 7月11日（土）最終日 7月5日（日）予備日
- ・予選リーグ戦方式（8人制）5～6チーム2日間
- ・決勝トーナメント方式（ベスト16～）
- ・初日16会場、2日目16会場、3日目2会場、最終日1会場
- ・代表決定：優勝・準優勝・第3位（関東大会へ）、4位～7位は（北関東大会へ）
- ・抽選を総会時に実施する。
- ・シードは前期Gグループに指定するチームを対象に、甲府・峡中は各4チーム、峡北
峡東・郡東・郡南は各2チーム計16チームを対象とする。
- ・複数エントリーは不可
- ・大会参加費を徴収（金額は未定）する方向で調整する。

※質疑応答

- ・質問なし

15:20

5. サッカーの指導現場における暴力根絶に向けてのディスカッション

【司会】：横森潔キッズ部長

【パネラー】

甲府地区：内藤健美氏（池田SSS）・許山敏氏（大国01）

峡北地区：堀田充布氏（甘利SSS）・佐藤大輔氏（VF八ヶ岳）

峡中地区：渡辺一仁氏（玉穂SSS）・諸貫務氏（CSCルーデンス）

峡東地区：村松賢一氏（浅川Jr）・滝嶋和彦氏（塩山SSS）

郡東地区：西島秀和氏（上野原アルテアル）・中野真紀夫氏（UFCDREAM）

郡南地区：高村富三人氏（山中湖SC）・池田憲昭氏（FantasistaFC）

※プロジェクターを用い、テーマを順次進行しグループワークと発表を重ねることで参加者が共通した認識を持つことができた。

参加者全員が「サッカー指導現場における今後一切の暴力を根絶する」宣言を行った。

8. 閉会の言葉

参加者の皆さんありがとうございました。

参加者ご礼解散

以上

議事録作成 広報部

鈴木和幸